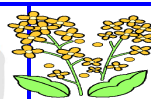




上野小学校だより



令和6年3月22日
第13号
勝浦市立上野小学校
HP <http://www.chiba-a.jp/ueno-c/>

1年間ありがとうございました

日に日に暖かさが増し、春の息吹を感じます。3月15日には、卒業式が行われ10名の卒業生が立派に上野小学校を巣立っていきました。今週は、6年生からバトンを受け継いだ5年生が、登校班の先頭を歩いたり、縦割り清掃の班長を務めたりと、最高学年としての活動をスタートしました。

本日、修了式が行われ、令和5年度が終了となりました。1年間、学校教育目標「ふるさとを愛し、心豊かでたくましく、自ら学ぶ児童の育成」のもと、「よく考える子」「やさしい子」「たくましい子」「ふるさとを愛する子」の育成を目指し、様々な教育活動に取り組んできました。子供たちが、「わかる喜び」や「できる楽しさ」を感じながら、目を輝かせて学ぶ姿や、互いの良さを認め合い協力して活動する姿に、1年間の大きな成長を感じます。明日から、学年末休業に入ります。元気に新学年をスタートできますよう、健康や安全に留意して、楽しい春休みをお過ごしください。

保護者の皆様、地域の皆様には、1年間上野小学校の教育活動にご理解、ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



未来に向かって、大きくはばたけ！ ～卒業証書授与式～

暖かい春の日差しの中、令和5年度卒業証書授与式が行われました。新しい制服に身を包み卒業証書を受け取った卒業生は、とても凛々しく、大変立派でした。在校生からのお別れのことばや歌は、優しい卒業生への感謝の気持ちと、卒業をお祝いする気持ちが込められていました。卒業生からのお別れのことばには、小学校のかけがえのない思い出を大切にしたい気持ちと、家族や在校生、先生方への感謝の気持ちが溢れていました。お別れの歌「旅立ちの日に」は、素敵なピアノ伴奏と美しい歌声が会場にいっぱい響き、聴く人に大きな感動を届けました。本当に、素晴らしい卒業式でした。卒業生のみなさん、自信をもって、自分らしく新しい世界へと飛び立ってください。



卒業制作

6年生が卒業制作として給食台カバーを作成し、各学年にプレゼントしました。給食が楽しくなるようにと、野菜や果物を飾りつけた、素敵なカバーです。みんなで、大切に使っていきます。



伝統工芸 大森尺八の魅力にふれる

鈴木広昭さん、松崎さん、元吉さんをお招きし、「大森尺八」について学びました。鈴木さんが製作している大森尺八は、2019年に県指定伝統工芸品となりました。勝浦で採れる真竹や山桜の樹皮を原材料に使い、手作業で1工程ずつ丹念に制作された尺八は、どれも竹本来の形が美しく、同じものはありません。演奏が始まると、子どもたちは、初めて聞く尺八と琴の音色にじっと聞き入っていました。

伝統工芸の奥深さと、それを守っていくことの大切さを学ぶことができました。講師のみなさんには、素敵な演奏と伝統工芸への思いをとどけていただき、ありがとうございました。



感謝の気持ちを込めて ～6年生を送る会～



3月1日、6年生を送る会を行いました。この会は、お世話になった6年生のために、5年生が企画し準備しました。5年生による紹介アナウンスで6年生が一人ずつステージに登場すると、みんな大きな拍手で迎えました。下級生から、手作りのプレゼントや歌、手紙などのプレゼントとともに、感謝の言葉が贈られると、6年生は少し照れたような笑顔を見せていました。5年生作成の「思い出のアルバム」では、入学から現在までの写真やエピソードが紹介されました。後半は、「サインゲーム」で楽しく交流しました。6年生とじゃんけんをしてサインをもらうこのゲーム。体育館は、さながらサイン会の会場のようににぎやかになりました。みんなのあこがれ、大好きな6年生に、感謝の気持ちを伝える心温まる会になりました。



空き家ボランティア ～6年生「私たちの手で勝浦の未来をつくる～」

3月9日（土）、10日（日）に、6年生が「空き家ボランティア」を行いました。6年生は、勝浦市の課題である「人口減少」を解決するためになにができるかを考え、一人一人が自分のアイディアを市に提案する学習に取り組んできました。市企画課が、その中の一つ「空き家ボランティア」の提案を、移住促進の取り組みとして実現させてくださいました。「空き家ボランティア」は、市民ボランティアと移住を検討している方が一緒に空家を片付ける作業を行いながら交流することで、勝浦の魅力を知ってもらおうというものです。ここでは、市企画課の喜瀬さん、地域おこし協力隊の梅原さんのご協力のもと、さらに、空き家に残された不用品を朝市で販売し、売り上げを能登地震への義援金にする活動を取り入れることにしました。

◇空き家をきれいにする ～空き家d e宝探し！～

市役所職員、移住検討をされている方（3組）、上野小6年生で空き家の清掃活動を行いました。部屋のものを協力して外に運び出し、家の中はあっというまにきれいになりました。掃除をしてみると、空き家に残されたたくさんの食器や置物、絵画などのお宝を発見。きれいにして、販売の準備をしました。



3月9日（土）

◇朝市でお宝を販売し、能登に義援金をおくろう！



3月10日（日）

空き家に残されたお宝を並べて販売を開始。朝市のみなさんや観光客など、たくさんの方が声をかけてくださり、会話をしながら笑顔で販売活動を行うことができました。約2時間で完売となり、売り上げは、市役所を通して能登地震の被災地へ送らせていただきました。

子どもたちは、2日間の活動で、人の温かさに触れ、ふるさと勝浦を大切に思う気持ちをさらに強くすることができました。子どもたちにとって、大変貴重な体験になりました。保護者の皆様、関係各所のみなさま、そして販売にご協力いただいたみなさま、本当にありがとうございました。

らに強くすることができました。子どもたちにとって、大変貴重な体験になりました。保護者の皆様、関係各所のみなさま、そして販売にご協力いただいたみなさま、本当にありがとうございました。